

714
A 2558
1

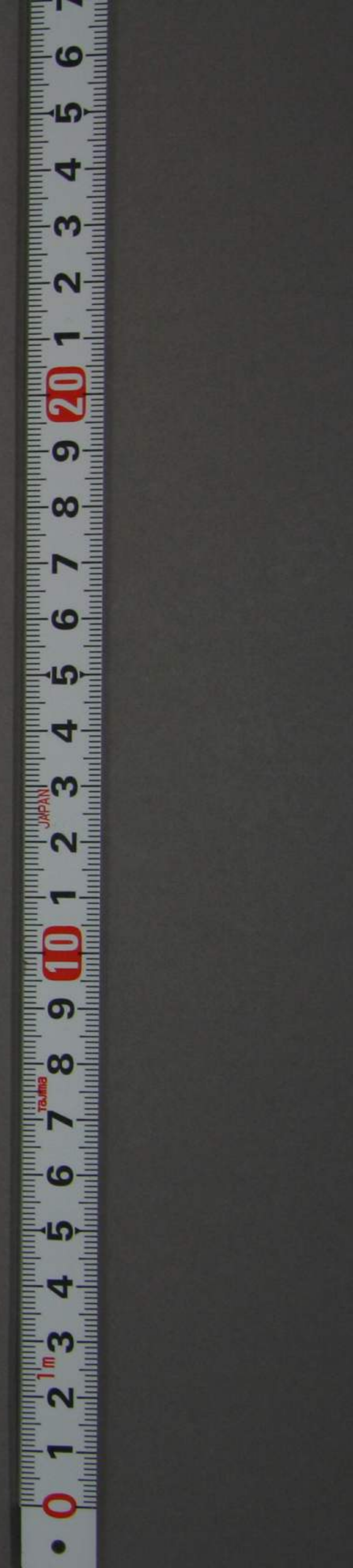
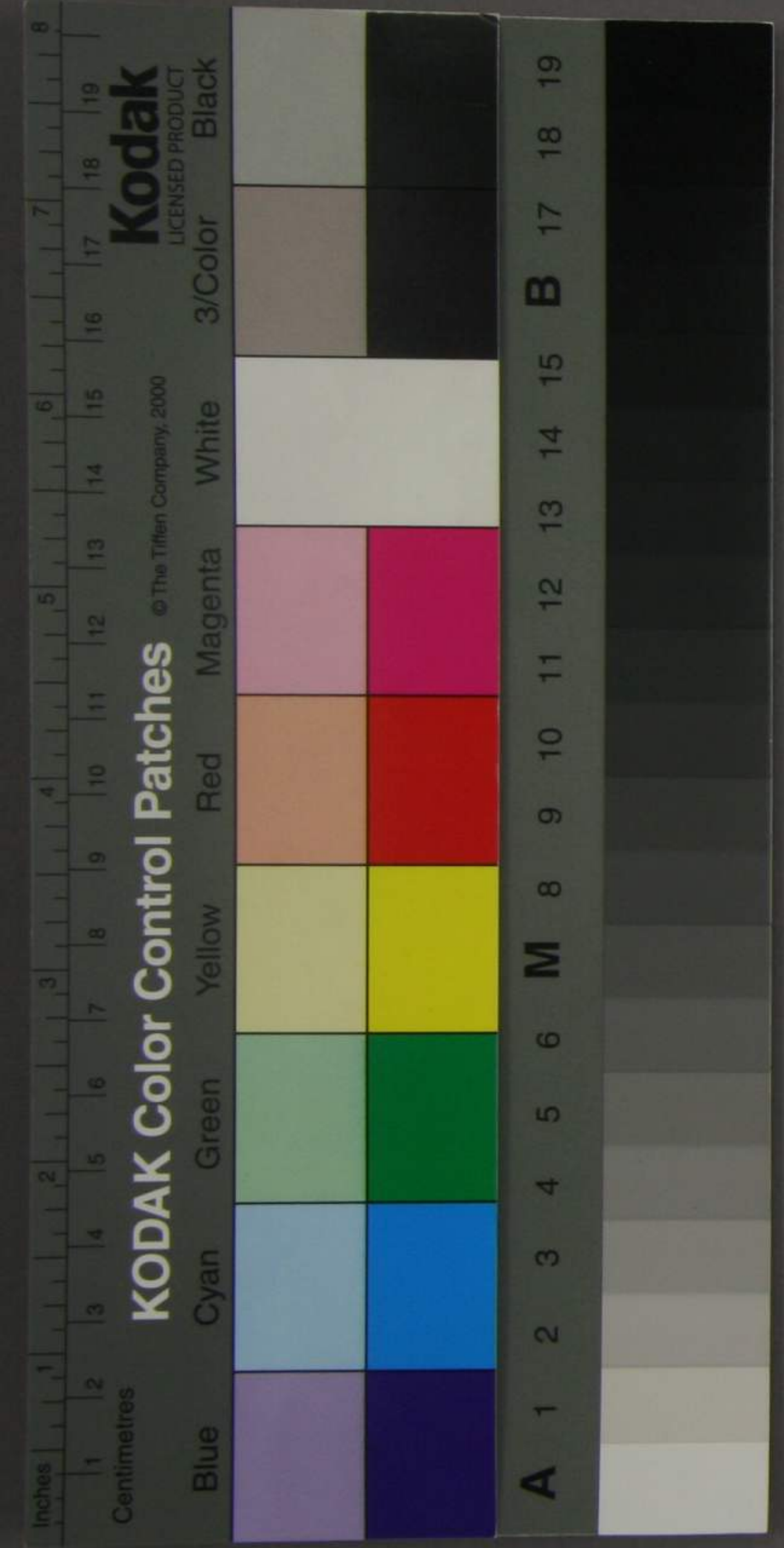


建

議

大正十一年
侯爵部
大隈

謹言 振興ニ當ル者、自由進歩、兩派の情を車、兩
輪の如く鳥ノ西翼の如し一輪一翼失てテ單行に能はざらん
然下ニ西派の如き一階然と相背し閣内閣外其の一致、
亦調ラズクノ觀アルに我々カ深ク悲しむるに国家が不幸焉
其大なる憂ナルべし我々カ後閣内閣の如く痛ク鼻しい可、
其曠の閣内閣の現内閣に其來之其の東経緯、其の故ノ措キ
内閣の調、端々トテ一語に在り現内閣ニ成方ヲ盡しん多ト
言ハルを得之似尾如何に好経緯良政ありと云々是今日、
形勢カニテ當ル者、其ヲ善シと云々其ノ難しと言ハルを得之
予ハ其ノ深ク而望スセメテハ内閣を臣如メ西派領袖人々
をニテモ其相和し眼中當ル者、其ヲ善シと云々是今日、



約せし藩閥遺教ヲテ常ヲ相歡喜せしやんや
男ヲ房々くし一ヲ

伊藤内閣の前議を以てん政黨を以てん自由黨ノ鉄道國
有建設案ヲ提出せしとんや此案を以てん増進案
ヲ提出せしとん但其期を以てん政黨を以てん自由黨ノ
約ヲ訂定せしとん増進問題ノ通過ヲ以てん苦ウとて且
辛キ増進問題ヲ以てん其ウとて且辛キ鉄道國有問題
加味せしとて鹽梅せしと高しとん其謀圖ハ画餅ニ歸し
たりとんを以てん伊藤内閣ノ價值ハ可成ト言ッへし今ヤ既
ニ政黨ノ形勢ヲ見しと伊藤内閣ノ衆議院現内閣
ニ以てん貴族院ヲ通過せしと政府ハ如何ニテ内閣ノ運命ヲ
保ミトスルカ現政府ノ提出せん増進案ハ多ク消極的ニシテ

苦ウとて且辛カラサハラス政府斯クは格ノ供へテ國民ノ
晴卷ト爲しとて國民豈能ク一著ヲ試しとてヤ其指能
衆議院通過スへしとん貴族院ニ以てん運命ハ予輩
甚ク危クマシラ得ス若し夫政府國民ノ輿論ヲ以て
消極的苦ウとて且辛キ増進案ニ積極的其ウとて
且秀シキ鉄道國有案ニ味加へ以テ一聯ト爲しとて
提出せしとん政黨を以てん自由黨ノ鉄道國有建設案
ヲ以てん共ニ鉄道國有問題ノ案ヲ去ラシテ知カ格
有テシテ力ヲ尽シて此死後問題ヲ以てん貴族院維
通過せしとん政府ノ存續ヲ謀ル完全ニ鉄道國有問題
實行せしとん一ヲ以てん

増税問題ニテ貴族院唯一或者トシテ地租法ナラシ
地租法及貸地法ヲ制定セリ序を別紙ニ付稿ヲ具
セリ畢テ貴院ニ送リテ人ヲ制ス現行法多破潰セリ
ク在る事ノ破綻ヲ思惟セテ地租法錯誤國有問題
トシテ今ヤ政府之ヲ再テ以テ自家護身ノ器ト爲ス
良業多ク思フヘカニ
右ノ表ハ如何

是之 節の事

地租法貸地法制定意見

大正十一年
侯爵 齋藤 春

憲政黨ノ地租ヲ増加セサル意見ヲ發表セラレタリ我々固
ヨリ其趣意ヲ賛成ス然レトモ國家財政ノ困難ナル市街宅
地租増加ノ議ヤルモリ、如キ既ニ十歩ヲ進メントス何リ
百歩ヲ厭ハシ殊ニ當議會ノ貴族院ノ前議會ニ於ケル衆議
院ト政府トニ於ケルカ如キ態度アルモノ、如シ此際ニ於
ケル増税法案ハ最モ公平ニシテ聊モ批難シ能ハサルモノ
タラスンハアラス仍テ想フニ我國現地租法ノ如キ組織甚
タ不完全ニシテ到底修正ノ功ヲ奏スヘキモノニアラス於
是乎現地租法ヲ全廢シ地租法貸地法ノ二法律ヲ以テ根底
ヨリ改正スルヲ可ナルヲ知ルナリ依之ニ法律概畧及ヒ計
算表ヲ左ニ掲ケ之レカ説明ヲ爲シトス



我國從前地租ナルモノハ米ナリシモ當時ハ地頭則地主ニシテ百姓則小作人ナリシ故ニ五公五民四公六民等ノ重稅アリ然ルニ地頭廢セラレテ兵役國民ニ移ルヤ土地所有ノ權國民ニ移ル者然ノコトナリトス而シテ地租改正ノ事アルヤ米租ヲ改メテ通貨ト為ス尔米價ノ騰貴ヨリシテ大地租ノ輕減セラレタル傾キアルニ似タレトモ畢竟從前小作米ノ性質アリシ重稅ニシテ今ヤ漸ク普通ノ收稅稅ニ近カラントシテアルモノナリ而シテ全國至ル處小作料ナルモノハ概テ依然トシテ米ナリトス吾國ノ小作人ナルモノ實ニ可憐ノ境遇ニアリ今ヤ斷然實地法ニ發布シテ小作米ヲ改メテ通貨ト為スヘキナリ然ルトキハ小作人ニ於テ頗ル權利ヲ得ルモノナリ何トナレハ秋收凶歉ナレハ米

大成社印行

價上リ秋收豊熟ナレハ米價下ル不仁ノ地主性々年凶ニシテ米價貴キニモ拘ラズ小作料ノ減在ヲ為サ、ラントシ無告ノ貧民ヲ出スノ事實無キニアラス此弊害救ハサルヘカラス
 永小作ナルモノハ既得ノ權利アリト云フ果シテ然ラハ地主ナルモノハ地租以外ニ於テ既得ノ權利アリト云フヲ得ヘシ地租ノ増加為スヘカラスト云ン豈斯ノ如キノ理アラニヤ今ヤ根底ヨリ地租法ヲ改正ス宜シク借地料ヲ改正スヘキコト勿論ナリトス
 地主ハ貸地料ノ多カラシコトヲ欲シ借地人ハ少カラシコトヲ望ム只之レヲ偽ル者ヲ罰スルノ法密ナル以上ハ意想外ニ貸地料ノ増加スルコトアラシ

我國各縣各地ノ小作法ヲ見ルニ概子田一段歩小作米一石
ヲ下ラス故ニ田一段歩ノ賃地料ヲ十一円ト豫定シタルハ
決シテ過当ニアラスト信ス
此法ニ擬レハ段別大量ノ如キハ敢テ問フ處ニアラス固ヨ
リ地主借地人ニ事実ノ收獲ヨリ打算シテ賃地料ヲ協定ス
ヘキナリ
此法ニ擬レハ地租ニ於テ一千万円ノ増加ヲ為ス然レトモ
實施ノ結果ハ宅地山林ノ如キハ豫定ヨリモ遙カニ増加ス
ヘシ
此法ニ事体ノ重大ナルニモ拘ラス其事至テ簡明ナルカ故
ニ明年六月以前ニ於テ無論完結ヲ見ルヘシ
土地ノ收益ト公債証書株式等ノ收益ト毫モ異ナルニトナ

ニ此法律ヲ實施スル以上ハ所得稅ニ於テ土地ノ所得ヲ拍
除セサルヘカラス歐洲ノ例皆然リ
今ヤ憲政政府新々ニ立ツ地租ノ如キ大問題ヲ半歲ノ間
ニ根底ヨリ改正シ去ルノ技量ヲ示シ以テ藩閥ノ殘類ヲシ
テ鯨若々ラシメサルヘカラス凡稅法ハ民業ヲ發達セシム
ル唯一ノ機關ナリ憲政經綸ノ始メニ於テ地租法ヲ整理
シテ以テ收益十分一ノ最高度ヲ課稅シ今後着々間稅消費
稅ニ於テ課稅ノ途ヲ開カサルヘカラス

右愚見為御參考開陳仕奏也

明治三十一年十月

足立孫六

一 地租ノ減免セズ
 一 此法律ハ沖繩北海道臺灣迄施行ス
 一 地租ハ五ヶ年毎ニ改正ス
 一 此法律ハ明治三十二年度ヨリ施行ス但事務決了前ハ旧租額ニ据テ假納セシメ追テ過不足ヲ精算スヘシ

一 地租ノ貸地料十分ノ一トス

一 地租ハ開墾荒地起辺等ニ拘ラス貸地料收入ニ據テ課ス

ルモノトス

一 地租ハ天災地変ニヨリ貸地料ノ全部ヲ失フニアラサレ

ハ減免セズ

一 此法律ハ沖繩北海道臺灣迄施行ス

一 地租ハ五ヶ年毎ニ改正ス

一 此法律ハ明治三十二年度ヨリ施行ス但事務決了前ハ旧

租額ニ据テ假納セシメ追テ過不足ヲ精算スヘシ

貸地法概畧

- 一 田畑宅地其他ノ土地總テ貸地料ヲ定ム
- 一 自任ノ宅地自作ノ田畑山林原野其他各種ノ土地ト雖比
悉ク貸地料ヲ定ム
- 一 永借宅地及永小作ト稱スルモノ總テ適當ノ貸地料ニ定
正セシム
- 一 借地人ハ貸地料ノ納付ヲ怠ルカ或ハ土地ノ耕作不行届
ニシテ土地荒廢ノ虞アルモノニテアラサレハ借地返却ヲ
強請セラルコトナシ
- 一 前條ノ末段ヲ定ムルハ貸地料公定委員會ニ於テ評決ス
- 一 貸地料ハ通貨ヲ以テ之レヲ定ム
- 一 借地人ト地主トノ間ニ於テ米其他ノ物品ヲ時價ニ算シ

大成社印行

- 一 貸地料ヲ受授スルハ妨ケ無シト云々此竊カニ物品ヲ以
テ貸地料ト為スヲ得ス
- 一 山林ハ自耕ト貸地トニ拘ラス殖樹ノ性質ヨリ年限ヲ定
メ收益ヲ見積リ以テ毎年ノ貸地料ヲ定ム
- 一 自住宅地ノ貸地料ヲ定ムルハ宅地色囲内ノ林藪庭園ト
家屋建築部分トノ廣狹等ヲ酌量スヘシ
- 一 何等ノ名義ヲ以テスルモ公定シタル貸地料以外ニ金貨
物品賦役等ノ授受ヲ為シタル者ハ受授者双方トモ刑ニ
處ス
- 一 貸地料ハ每筆土地名帳ニ登記シ地主借地人ヲ以テ署名
捺印セシム
- 一 貸地料ハ土地賣買契約証書及ヒ裁判所登記簿ニ登記セ

一 毎町村貸地料公定委員會ヲ設置ス但該町村多額納税者ヨリ撰出セラレタル委員半數ト借地人ヨリ撰出セラレタル委員半數トニヨリ組織ス其人員ハ町村ノ適宜ニヨリ定ム

一 貸地料ノ公定ハ地主借地人ノ申出ニ基キ貸地料公定委員會ニ於テ之レヲ評決ス

一 各府縣ニ貸地料公定中央委員會ヲ置ク但府縣會議員ヨリ互撰セラレタル者半數ト府縣收税吏及知事郡長ヲ以テノ半數ヨリ組織ス其人員ハ府縣知事之レヲ定ム

一 地主借地人貸地料ノ公定ニ於テ委員會ノ評決ニ服セザル場合ハ府縣中央委員會ノ調査決定ヲ以テ終了ト為ス

大成社印行

一 町村貸地料公定委員會ニ於テ評決シタル貸地料ハ都市收税吏ニ於テ之レヲ調査シ中央委員會ニ於テ之レヲ評決ス

一 貸地料ハ五ヶ年毎ニ改正ス

種目	及別	旧租	貸地	地料	新租	増租
田	二七三、六六〇、五五一 所	二、七四六、七六〇 円	十一反	三〇、〇四八、二六五 円	三〇、〇四八、二六五 円	二六〇、一五〇 円
畑	二二七、〇二二、六〇一	六三九、八六五〇	四反	九一〇、八〇九、九〇四	九一〇、八〇九、九〇四	二七八、三二五〇
郡村宅地	三五八、五七二、七五〇	二七〇、四、八七六	十一反	三五八、五七二、七五〇	三五八、五七二、七五〇	八八〇、八五一
市街宅地	二、六九八、七五二	八四七、九六六	百反	二、六九八、七五二	二、六九八、七五二	一三七、九〇九
塩田	七〇三、三六五〇	四八、〇一〇	八反	五六一、八九二	五六一、八九二	八一七八
鑛泉地	二六〇一	一、五一五	六百反	一、五一五	一、五一五	〇四五
池沼	一〇、八三〇、七三一	二六二	三十銭	三、二四〇	三、二四〇	〇六二
山林	七三九、三二七、一七一	六〇五、三九〇	四反	二九二、七七、二六八	二九二、七七、二六八	二三七、一八七八
牧場	一八、六九四、四八三	七一八	三反	五、六〇八三	五、六〇八	四八九〇
原野	一〇、五五六、九三二、二二一	五八、九七二	全	三、一六九、七七六	三、一六九、七七六	二五八、〇〇五

一、山林、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 二、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 三、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 四、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 五、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 六、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 七、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 八、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 九、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野
 十、田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野

雜種地	一〇二〇、四八五五。	二二、四八九	一交	三二三、四五六	三二、三四六	二八、八五六
總計	三六八八、八五四九	三八〇三、二五八	三回	四八二、四七六、九〇三	四八、三四七、六八七	一〇三三四、四二九

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

大成社印行